

Wish

【ウイッシュ】

No. 73

2024. 4 [年4回発行]

私たちは「ワーカーズ・コレクティブ」で起業しています

ワーカーズ・コレクティブとは、生活者の視点から地域に必要な「もの」や「サービス」を市民事業として事業化し、全員が出資・経営・労働する働き方です。

理事会より

報告 第16回 ワーカーズ・コレクティブ全国会議 in 埼玉

「いのちと暮らしを守るあたたかな経済～ワーカーズ・コレクティブで広げよう! 社会的連帯経済～」と題して、ワーカーズ・コレクティブの全国会議が埼玉県川越市で開催されました。北海道からもオンラインでの参加を含め、115名の会員が参加しました。20日の全体会と、21日の分科会の様子を報告します。



ウエスト川越 1/20～22

1/20 全体会
第1部の基調講演では、社会的連帯経済における連帯関係そのものを紡ぎだすコミュニティ開発の在り方について研究されている立教大学 藤井敦史教授を講師に、社会的連帯経済、その役割とミッション、取り組み事例、日本の社会的連帯経済と協同労働の展望と期待についてお話がありました。ワーカーズ・コレクティブが目指す「多様な就労の創出」「地域ニーズに答える事業」「持続可能で活力ある地域社会づくり」は、社会的連帯経済のものとして確認できました。ワーカーズや様々な協同組合、NPO

をはじめとする団体、そして行政がつながることによって広がりを生み出していく。さらに住民が主体となって豊かなまちづくりを目指す生活クラブとの連携を強め、社会的連帯経済の担い手としてワーカーズ・コレクティブ運動の使命と可能性を考えることができる講演でした。
第2部では、開催地の埼玉から4団体の実践例報告とパネルディスカッションがあり、地域や社会課題を解決するための社会的連帯の可能性を探りました。(報告:泉 久美子)

1/21 分科会

〈第1分科会〉子どもと共に歩み、みんなでつくるあたたかい社会

(N)豊島子ども WAKUWAKU ネットワークの栗林知絵子さんの基調講演では、必要とされる支援や困りごとに直面したときに流動的に柔軟に動くことによって、地域を巻き込みながら地域に寄り添った支援が生み出されていることに感動しました。

事例報告では、3団体が地域密着の拠点での学童や中高生の居場所づくり、外国人支援、様々な方が出会える場の活動を紹介しました。あたたかい社会づくりにはとにかく緊急的にスピードを持ってしなければならない「支援」と、地域(人)とのつながりや場作りなどじっくりと広げていくような時間のかかる「支援」の両方が必要だと感じました。(報告:鈴木 律子)

〈第6分科会〉労働者協同組合法施行一年、働き方や地域を自治する人を増やしていこう

基調講演は、厚生労働省 労働者協同組合業務室の水野嘉郎室長からの、労働者協同組合法の概要と設立状況の報告でした。今後も周知フォーラムを開催して可能性や魅力を発信するとともに、全国に国のモデル事業として労働者協同組合を活用した取り組みを進めていくとのお話がありました。

続いて、これから労働者協同組合法人を取ってみたいと考えている2団体と、すでに取得した2団体の事例があり、この私たちが長年あたり前におこなっている協同労働という働き方が、もう一つの働き方の選択肢として、若い人たちの中にも広がっていく可能性を確認することができ、社会的連帯経済の“はじまり”を感じました。(報告:齊藤 佳代子)

中央区にあったらいい！ 子育て支援ワーカーズの誕生！！

interview 高瀬 敦子 さん

子育て支援ワーカーズ ぽぽら

TEL 080-9617-0035 〈2023年設立・会員11名〉

念願かなって中央区に生まれた、子育て支援ワーカーズぽぽら。設立までのお話を共同代表の高瀬敦子さんにお聞きしました。



たかせあつこ 毎年、紅葉を楽しむために一人下りイブへ。いい気分転換になります

設立までのみちのり

わが子が10歳になるまで、東京で子育てをしていました。札幌の実家から離れ不安でしたが、先輩ママたちに支えられて一緒に子育てしてもらった！という安心感がありました。再び札幌に戻り、次は自分が手助けする側になりたい…そんな想いを抱いていた頃、町内のイベントで楽しそうに生き生きと子ども用のスペースを設ける子育て支援ワーカーズに出会いました。その後、自分もその仲間になることができ、子育て支援の仕事に担うようになりました。

中央区に子育て支援ワーカーズを作ることは、みんなの願いでした。私自身も、中央区の子育て家庭や地域社会の様子に触れる機会が多くなり、日増しに設立への想いが膨らんでいきました。そして、ワーカーズの仲間として活動してきたつながりや、生活クラブ生協が運営する親子ひろば「ほっとたいむ in そうえん」でのスタッフと想いを共有することができ、設立の夢が叶いました。

ご縁もあってメンバーが増え、つながりも深まり誕生できたぽぽらです。「ぽぽら」とはイタリア語で「みんなが集う広場」の意味を持ちます。100家庭の子育てには100通りの背景があり、正解不正解はありません。特にコロナ禍は、これまで経験したことのない社会環境や育児環境であり、集うことの大切さを痛感した3年間で、そんな中でも子どもたちは生まれ、育っています。多くの親子が集まって、ともに子どもたちの成長を喜び合える！そんな温かな居場所、地域をめざしていきたいと考えています。

いつまでも子どもに関りたい

私自身、わが子を持つまでは小さな子どもと接する環境にいたわけでもなく、子育て支援に関心があったわけでもありません。自分が親となって育児をすることで、わが子だけではなく自分のまわりの子どもたちにも強く愛おしさを感じるようになりました。子どもたちと一緒にいると、素直になれる自分がいます。

やはり、子育て支援は体力勝負だということを日々感じます。いつまでも若々しく、長くこの仕事を続けるためには、好きなバレーボールでストレスを発散し、美味しいものを食べて心を満たし、疲れたらぐっすり眠る。シンプルだけど、こんな方法で年齢と向き合いながら体力をキープして、自分の健康を保っていければと思っています。 【取材/高橋・岡田】

ぽぽらの誕生

2022年10月のスタート集会から20回もの準備会を経て、メンバー11名で設立を迎えました。準備を進めるなかで、様々な



設立総会での集合写真

起業カフェへどうぞ! ワーカーズの事業や起業方法について知りたい方のためにカフェを開催します。開催日以外でも、電話での問い合わせや来所に対応いたします。

4/25 5/23 6/27 7/25
14:00～16:00 木曜日

予約不要 参加無料

会場：北海道ワーカーズ・コレクティブ連絡協議会

お知らせ 宅配・手作り弁当のワーカーズレラ

転居により、住所とメールアドレスが変更になりました。

〒006-0819
札幌市手稲区前田9条13丁目4番35号
TEL/FAX: 011-684-4999
Mail: bento_rera@yahoo.co.jp

ホームページもみろ

■発行/特定非営利活動法人 北海道ワーカーズ・コレクティブ連絡協議会
〒060-0041 札幌市中央区大通東2丁目15-1 サラサビル4階A号室
☎ 011-596-0650 FAX 011-596-0651
Email wco28@athena.ocn.ne.jp
http://hokkaido-workers.org

■発行責任/齊藤 佳代子 編集責任/理事会 制作/プランズEPO
■年4回発行 年間購読料/1000円



連協HP

業種	団体数
食	8
福祉	9
子育て	12
学童	2
業務請負	2
リサイクルと環境雑貨&カフェ	1
編集・事務	1

1986年に設立。35団体約470名が加入しています。